



しゃきょう 2023年1月号 207号 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



新年のご挨拶を申し上げます

三宅島社会福祉協議会 会長 北川 多恵子



新年あけましておめでとうございます。

日頃、三宅島社会福祉協議会につきましてご理解、ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

この度、前会長の津村明氏が退任され、微力ではありますが、私が後任を引き継ぐことになりましたのでご報告申し上げます。

さて、コロナ禍第八波の最中の年明けとなりました。世の中はどの世代も、福祉に関係ない世代はないほど、福祉は私たちの生活に密着してまいりました。

三宅島社会福祉協議会では昨年、小中学生のボランティア活動に力を入れました。具体的に言うと、中学二年生の授業下でカンボジア・ラオス・アフガニスタンに日本の「絵本を届ける運動（日本の絵本に、各国の言葉に翻訳された

シールをページごとに貼り付けて作る絵本を、各国へ送る運動）」を行いました。海を越えて子どもたちの想いや素直な気持ちが届けられたことは、将来、大きな花となる一粒種と期待いたしております。そして、これらの活動が継続されることを願っております。

そして、なにより三宅島社会福祉協議会の日々の活動にご協力してくださる島民の皆さまに、心から感謝申し上げます。島民の皆さまのご支援・ご協力が私たちの力となり、明日への活動への活力となっております。各関係機関の皆さまにおかれましても、当会へのご理解・ご協力、本当に感謝しております。

社会の形態も変わりつつある中で時に応じた活動を吟味し、尽力してくださるスタッフの皆さまには頭の下がる思いです。また、高齢者の通院送迎、訪問介護、障がい者福祉、地域権利擁護に係るスタッフの皆さまにも、心から感謝申し上げます。

私たち三宅島社会福祉協議会が、より一層、世の中に対する心配りができますよう、心より願い活動してまいります。

末筆ながら、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りしますとともに、今後なお一層のご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

北川多恵子会長におかれましては、令和4年12月13日にご逝去されました。今回の新年の挨拶分を掲載するか悩みましたが、北川会長の最後の言葉として、ご家族の承諾を得て掲載させていただきます。生前には三宅島の福祉の充実のために大変ご尽力いただきました。私たち職員は今回の就任のご挨拶としていただいた言葉をしっかりと受け止め、ここに哀悼の意を表するとともにご冥福をお祈りいたします。

事務局長 早川信



1月17日は「防災とボランティアの日」です！



毎年1月15日～21日は「防災とボランティア週間」です。1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災に由来しています。全国から多くのボランティアが集まり、がれきの撤去や被災者支援を行うことで、復興に向かう大きな原動力となりました。「ボランティア元年」とも言われたこの年から28年が経ち、今も尚、地震や台風、火山や津波、大雨による川の氾濫といった数多くの自然災害が、私たちの生活を脅かしています。こうした災害が発生する度にボランティアがすぐ集まるという流れは、私たちの社会によろやく根付き始めたものだと思います。昨年も台風15号が甚大な被害をもたらした静岡県の被災地には、数多くのボランティアが集まりました。東京都社会福祉協議会も各区市町村社協から人員を集め、現地に立ち上げられたボランティアセンターの応援業務を担ってきましたが、日頃から協力体制を築きつつ備えていた成果であると思います。防災や減災は日頃の備えが重要だと言われています。私たちも災害に対するイメージをしっかりと持ちつつ、日頃から十分な備えをしたいものです。

三宅島が噴火して23年が経ちました。私たちも当時から多くのボランティアに支えられてきました。噴火直後には、降り積もった火山灰の撤去など生活環境を取り戻す支援を受けました。復旧が進み、復興に向けて進み始めたときには、長期的に支えあう多様な支援を受けました。心のより所となるその支援はその時によって形が変わります。様々なボランティアの支援に本当に助けられました。そうした中で、私たちが今も暮らしている島での生活は、日常的に災害と隣り合わせとなっています。課題の一つは、災害が発生した直後、島外からの支援が入りにくいという事です。では、その支援が届くまではどうしたら良いのか？と考えたとき、やはり「自助共助」が重要となってきます。自分ができる備えをしっかりと行うと共に、日頃から地域の人と人がつながりを持ち、助け合う備えをすることが大切ではないでしょうか。いざという時にお互いを支え合う！「困ったときはお互い様」これが何よりも自然にできる「ボランティア」としての心構えではないかと思えます。

「防災とボランティア週間」を機に、誰もが安心・安全に暮らせる地域づくりについて今一度考える機会としてみてはいかがでしょうか。

地域の掲示板

事務局長 早川 信

三宅島巨樹の会

会報「やどり木」日号発行しています！
無料で配布していますので、ご希望の方は
下記までご連絡ください！

代表：佐久間 文夫 電話：090-6875-5627

～「天空の見晴らし権」お悔やみウォーク～

日時：1月29日（日）9：00～

集合：大路西側側橋橋駐車場集合

スタジイ全国2位だった巨樹、2018年倒壊。

慰霊観察会で周辺10本のご案内です。

寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。
 沖山 禎雄さまより 亡父 文雄さまの香料より 地域福祉事業のために
 筑波 和幸さまより 亡母 玉枝さまの香料より 組織運営事業のために
 福祉振興のため、大切に使用させていただきます。ご厚志誠にありがとうございます。





こうれいしゅぎ じたいけん おこな
高齢者疑似体験を行いました！

令和4年11月18日に三宅小学校第4学年の総合的な学習の時間の授業で、福祉やボランティアについての理解を深めてもらうため、「ボランティアってなんだろう？」というお話をさせていただいた後に「高齢者疑似体験」をしてもらいました！ボランティアについて一緒に考え、疑似体験セットを装着してから校内散策や車いす体験、三宅島社協にて現役で活躍されている介護士による介護体験を行いました。ふたり一組になって、お互い声をかけながら、11月にも関わらず汗を流し、一生懸命、高齢者疑似体験を行ってくれました。今までは「ボランティアをしてみたい」という気持ちはあっても実際に自分ができることを、自分で見つけてやってみるのは、難しかったと思いますが、今回、高齢者疑似体験がみなさんの自信となり、この体験が、ボランティア活動をはじめの第一歩のお手伝いできれば、とてもうれしいです。誰かのためになにかをしたい！自分がしてもらって嬉しかったことを今度は誰かのためにしてあげたい！こういう気持ちをもっているだけで、救われる人がたくさんいることを忘れないでいてくれるとうれしいです。私たち社協の職員がお手伝いできることがあれば声をかけてくださいね！三宅小学校池田校長先生、福田副校長先生、関谷先生、ご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。そして「ボランティア」ということを一緒に考えてくれた三宅小学校4年生の皆さん、素敵な時間をありがとうございました！（杉本）



また、お会いできる日を楽しみにしています！





開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

1月のいぶき活動

緑化活動 4・11・18・25日(全水曜日)

外出支援 19日(木曜日)



本年もよろしくお願いいたします。いぶきでは気分転換や運動も兼ねてドライブに出かけることもあります。その時々季節を感じられるように自然に触れ合う機会も多くあり、写真は11月に神着地区の方の畑に咲いたたくさんの菊の花を見せていただいた時の一枚です。ピンクの鮮やかさに皆さん感動されていました。ありがとうございました。

ちけん通信

Vol.44 ちけんのサービスを受けたいときにはどうしたらいいの?

Q.

ちけんのサービスを受けたいときは
どうしたらいいの?



そうだ!
社協の地権に
相談して
みよう!

あけましておめでとうございます! 本年もよろしくお願いいたします! 地権担当のやながわです。ご質問ありがとうございます! 「ちけん」のサービスに興味をお持ちいただいたり、相談したいことがおありの際は、ぜひご連絡ください! ご相談いただいた方が落ち着ける場所でお話を伺わせていただくとともに、サービスの案内をさせていただきます。また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの流行により直接の面談が不安な方については電話やメールなど不安が少ない形で相談を受けさせていただきます。ご相談いただいた内容につきましては秘密厳守で対応させていただきます。お困りごとやご相談に合わせたい形でサポートさせていただきますので、お気軽にお問合せください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。